

鈴鹿市子育て支援センター「りんりん」

毎月第1土曜日はパパも参加！

1 保護者が集う年間の主な取組

年間を通し毎月第1土曜は「お父さんも遊ぼうデー」を設定。H29/10月より偶数月はゲストを招いてイベント的に開催。*内容によっては予約制をとる

- 【H29/10月】 割りばし鉄砲づくり
- 【H29/12月】 家族でバレトン運動
- 【H30/02月】 音遊びで楽しみましょう
- 【H30/04月】 親子で体ほぐし



2 12月のワークショップの様子(参加者は親子で約50人)

運営までの過程・・・鈴鹿市において県事業のワークショップ進行役講座を実施した際、「以前から実施している“お父さんも遊ぼうデー”の活動内容を発展させたい」との意向のもと話し合い、H29.10より親子体験とパパトークを実施。募集方法は、チラシや鈴鹿市子育て支援サイトで案内及び来館した保護者への声掛けを行う。

目的・・・男性の参加が年々増えてきており、様々な体験を通して親子のふれあいや保護者同士のつながりを意識した時間や空間づくりをめざす。

活動の流れ(90分 10:00-11:30)

- ① はじめに10分・・・県職員から「みえ家庭教育応援フルーツ」を活用した子育て事情の話
- ② うごきましょう50分・・・親子でバレトン、パパ向けレッスン、抱っこして体操しよう等
- ③ パパトーク30分・・・参加できるパパが別室にて、バレトン講師も交えて子育てや自身の生活などを、5人程度の小グループで語り合う(みえの親スマイルワーク活用)

【参加者の感想】

- ・体を動かす機会が減っているので、子どもを巻き込んで、運動を取り入れていきたいと思った。
- ・センターに来て、同じ子育て中のパパと情報を交換したことは有意義だった。
- ・パパトークの目的が明確でなかったので、どうすればよいかわからなかった。

【ゲストのバレトンの先生の声】

- ・ファミリーで楽しく！乳児も一緒に楽しめる運動を取り入れたらもっといいですね。
- ・パパたちが何を求めているのか・・・ニーズを聞きだし応えていけるようになりたい。

3 スタッフの感想(振り返りや今後に向けて)

- ・子どもが豊かに育つよう、この時間を通して様々な体験をしてもらい、各家庭でも親子のふれあいがさらに増えるよう気づきや学びがあるとうれしいと思います。
- ・参加したパパに今後も積極的な参加を求めスタッフにも関わってもらえるよう声掛けを行い、地域による運営をめざしていければと考えます。